

## 「後輩との不倫で借金 900 万の男性」 ～不倫の果てに辿りつくもの～

- B さん
- 年齢：58 歳
- 性別：男性
- 借金

### 【26 歳年下女性との不倫】

B さんは、民間企業の課長職。一見、とても真面目そうに見える。元々同級生だった現在の妻とは互いに再婚同士で、今年で結婚してから 20 年目になる妻との間には、高校生の子供がいる。その一方で、B さんは先月まで同じ職場に派遣社員として勤務していた 26 歳年下の女性と不倫関係にある。しかも会社には「二世帯住宅を建てるための資金」として、退職金の中から 800 万円前借りしているという。しかし、これは全て不倫で作ってしまった借金だという。実は他にもキャッシングで借入した借金が 100 万円程ある。若い女性との不倫にはお金がかかる。週末は家を空けることが多く、その都度、妻には「取引先との接待」と偽って不倫相手と旅行に出掛ける。さらに B さんは、不倫相手の彼女に毎月 8 万円援助している。そうこうしているうちに、会社からの前借りやキャッシングローンが膨れ上がり、いつの間にか 900 万円までになってしまった。

### 【全てを失う恐怖】

58 歳になったある日のこと、会社から突然の退職勧奨を受けた。それに従えない場合は、立ち上げて間もない海外支社へ出向になるという。しかし、そうなれば給料はもちろん、待遇も下がり、役職も降ろされる。これに対する回答期限は残り 1 カ月程しかない。退職するか、出向するか…決断を迫られている一方で、どうすることもできず追い詰められ苦慮していた。この年になるまで、まさか自分が退職を迫られることになるとは思ってもいなかった。しかし、会社を辞めたら、退職金の前借り 800 万が明らかになってしまう。これでは妻に言い訳が立たない。まだ家のローンも残っているし、子供の進学資金も必要だ。そして、金の切れ目が縁の切れ目で、きっと不倫相手の彼女も失うのではないか…。考えても答えが出ず、頭の中で堂々巡りを繰り返していた。そして、いつしか「死にたい」と思うまでに追い詰められていった。

### 【現実とどう向き合うか】

女性が最も怒ることは、お金ではなく異性問題である。だから妻には不倫のことは絶対に言わないことだ。もちろん、会社から前借りした退職金やキャッシングなどの借金についても、あえて「古くからの友人の保証人になってしまって…」と言うように教え、女性問題での借金であることは一切伏せさせた。年下の若い不倫相手にはいつか捨てられる。「彼女とは徐々に縁を遠ざけていくべきだ。そうしないと、彼女の人生が大変になる。それに、嫁さんがいるからこそ老後を生きていける。妻が支えてくれて会社というバックがあったからこそ、これまでやってこられた。会社もなくなってただの男になったら、もう誰も相手にしないよ。そんな男でも嫁さんはずっと見ていてくれるのだから、大切にすること。自責の念を持って、奥さんを大事にしていくことだよ。」そう告げた。

### 【ここが POINT !】

リストラが原因で、生きる気力を失ってしまう男性は多い。だからこのケースで大事なことは、「絶対にうまくいく」と安心させて、気力を取り戻してやることである。もう一つ大切なことは、綿密なシナリオを作ることである。ほとんどの男性はウソが下手である。しかし、プログラムに沿って仕事をすることは鍛えられているから、綿密なシナリオさえあれば、そつなく実行することができる。自業自得のこととはいえ、彼も相当苦しんだ。そして学習し、奥さんを救うことによって自分も救われ、不倫相手も救った。みんなが救われた。ある意味、妻を欺いたことは確かだけれど、実害がないのだから詐欺にはならない。人間を救うためにはこういう悪知恵の必要性もある。



日本駆け込み寺では、相談員育成のため、相談員養成学校、養成講座を開催しています。新しい情報はウェブサイトにも UP します。ぜひ受講してくださいね。

画像は、相談員養成学校(初級)の修了証を、玄代表が渡すところです。